

社会資本総合整備計画

新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進（防災・安全）

第7回変更

令和7年9月

新潟県新発田市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

令和7年9月

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進 (防災・安全)			変更回数	7	重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)			交付対象	新発田市		
計画の目標	<p>当該計画地は、東豊地区の中心に位置し、都市計画道路や自転車歩行者専用道路に接しており、東豊小学校の通学路上にある。この計画地を中心に、災害時に避難困難区域が存在するため、現在の豊町コミュニティセンター跡地に防災機能を有した地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」を設置する。平常時は、東豊地区の防災コミュニティ活動や防災イベントの開催等の場として、災害時は、防災備蓄庫の機能を有した指定緊急避難場所として整備し、避難困難者の解消を図ると共に復旧活動の拠点とする。</p> <p>また防災マップ作成や避難経路誘導表示板を設置し、地域住民の災害に対する情報共有と、災害時の避難の円滑化を図る。</p> <p>このほか、講演会や体験型防災イベントや合同防災訓練を実施することで、豊町と東新町の多世代間交流を促進し、コミュニティの醸成と災害時の協力体制の構築を図る。</p>						
番号	一体的に実施することにより期待される効果						備考
C-001	防災マップを作成・配布することにより、災害時の指定緊急避難場所や指定避難所への避難経路の把握を促すとともに、日常からの防災意識の向上を図ることで被害の軽減を図る。						
C-002	防災マップに基づく避難経路の誘導表示板を設置することにより、災害時の避難活動の円滑化を図るとともに、日常から避難経路の周知を図ることで被害の軽減を図る。						
C-003	防災コミュニティセンターにおいて、講演会等を開催することで、住民の日頃からの防災意識の向上を図る。						
C-004	東豊地区全体を対象とした防災訓練を実施することで、地区の防災拠点である防災コミュニティセンターと他の指定緊急避難場所等との非常時における連絡及び誘導体制の確認と強化を図る。						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									R2	R3	R4	R5	R6		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

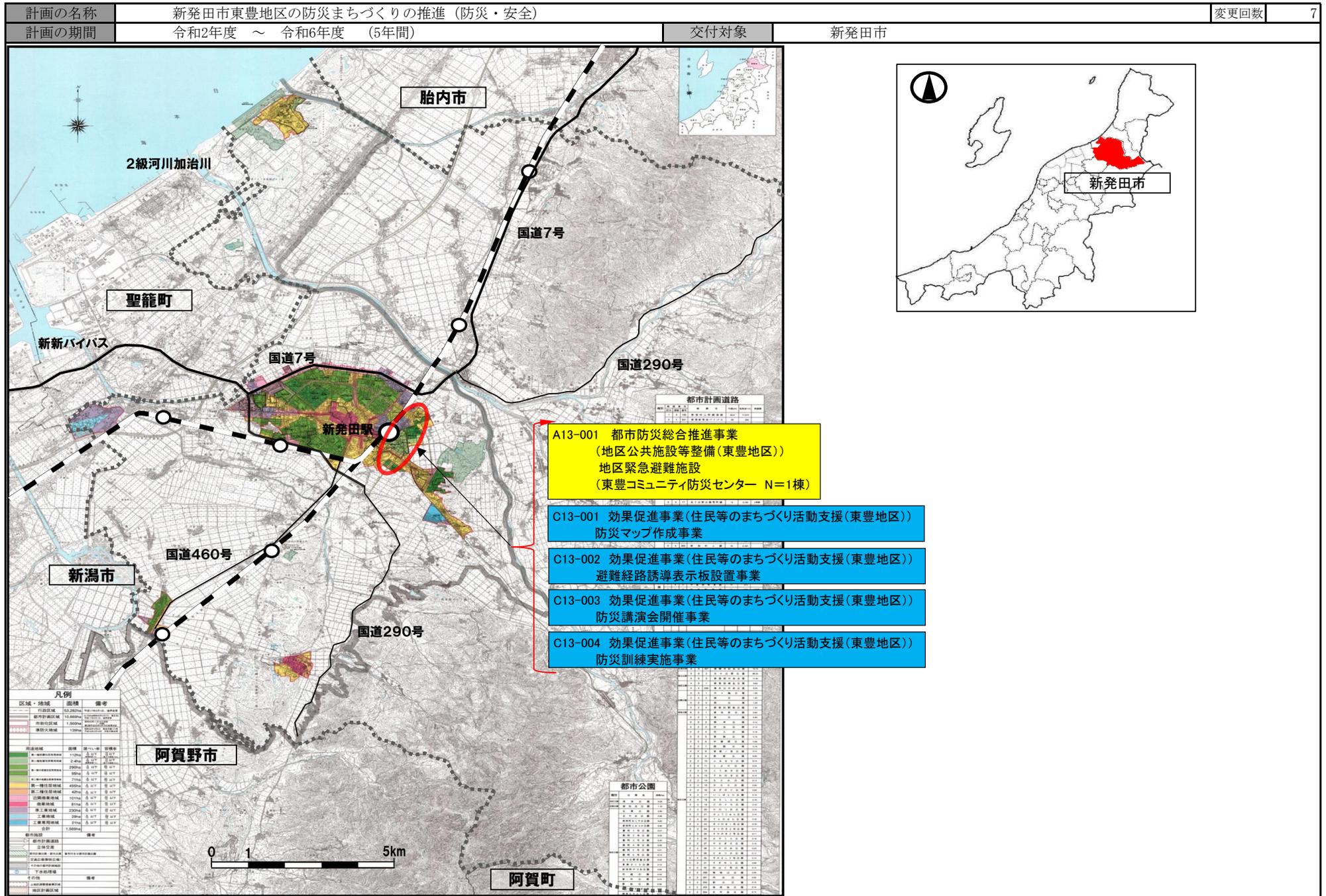
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額(a)	19.9	243.5	1.0	5.7	11.9
計画別流用増△減額(b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額(c=a+b)	19.9	243.5	1.0	5.7	11.9
前年度からの繰越額(d)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支払済額(e)	17.4	217.5	1.0	5.7	11.9
翌年度繰越額(f)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち未契約繰越額(g)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不用額(h = c+d-e-f)	2.5	26.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越+不用率(h = (g+h)/(c+d))	12.6%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	一般入札により、見込んでいた事業費よりも安価に契約したため	一般入札により、見込んでいた事業費よりも安価に契約したため			

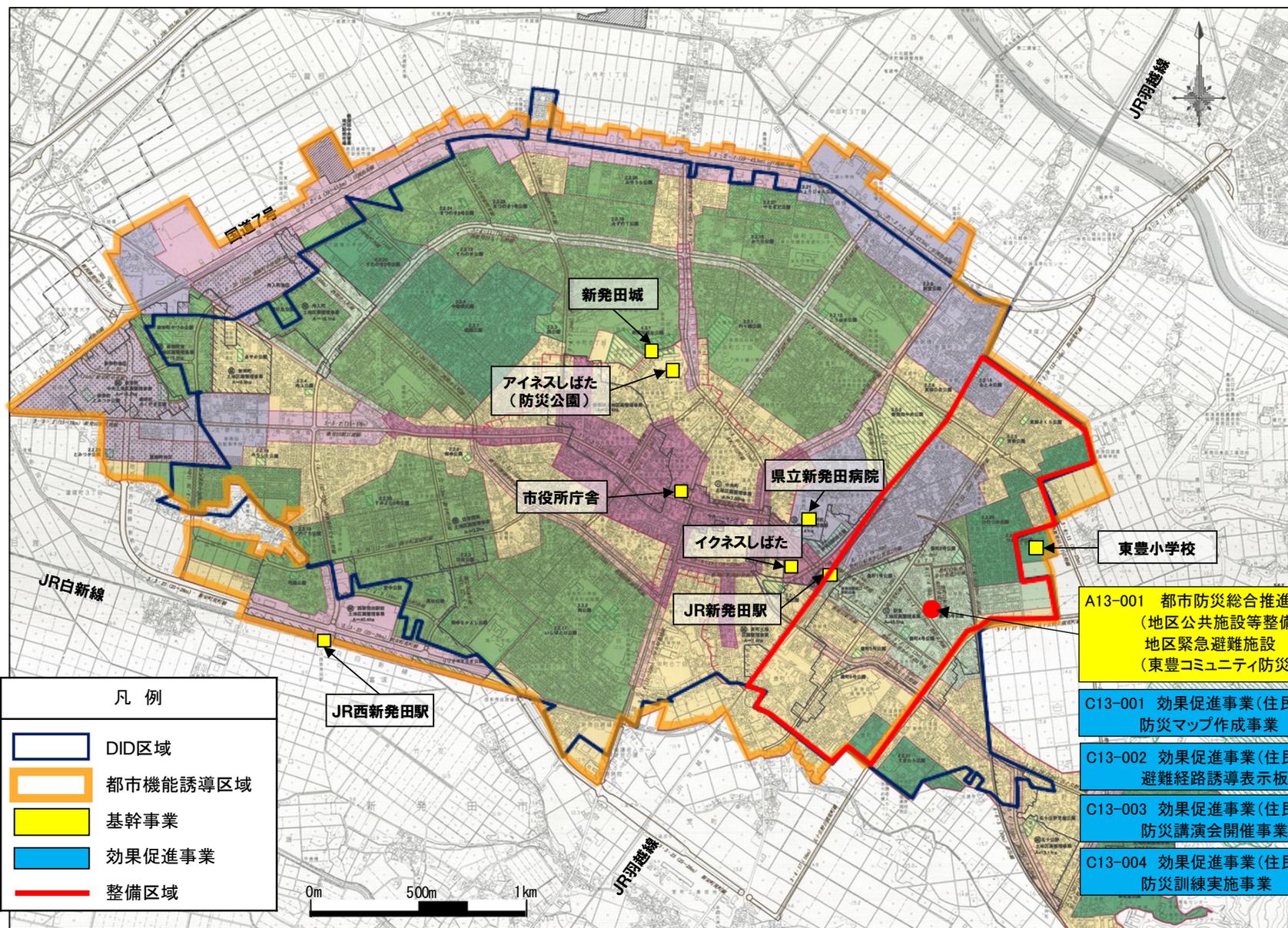
※ 令和2年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進 (防災・安全)	変更回数	7
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	新発田市



凡 例	
	DID区域
	都市機能誘導区域
	基幹事業
	効果促進事業
	整備区域

A13-001 都市防災総合推進事業
 (地区公共施設等整備(東豊地区))
 地区緊急避難施設
 (東豊コミュニティ防災センター N=1棟)

C13-001 効果促進事業(住民等のまちづくり活動支援(東豊地区))
 防災マップ作成事業

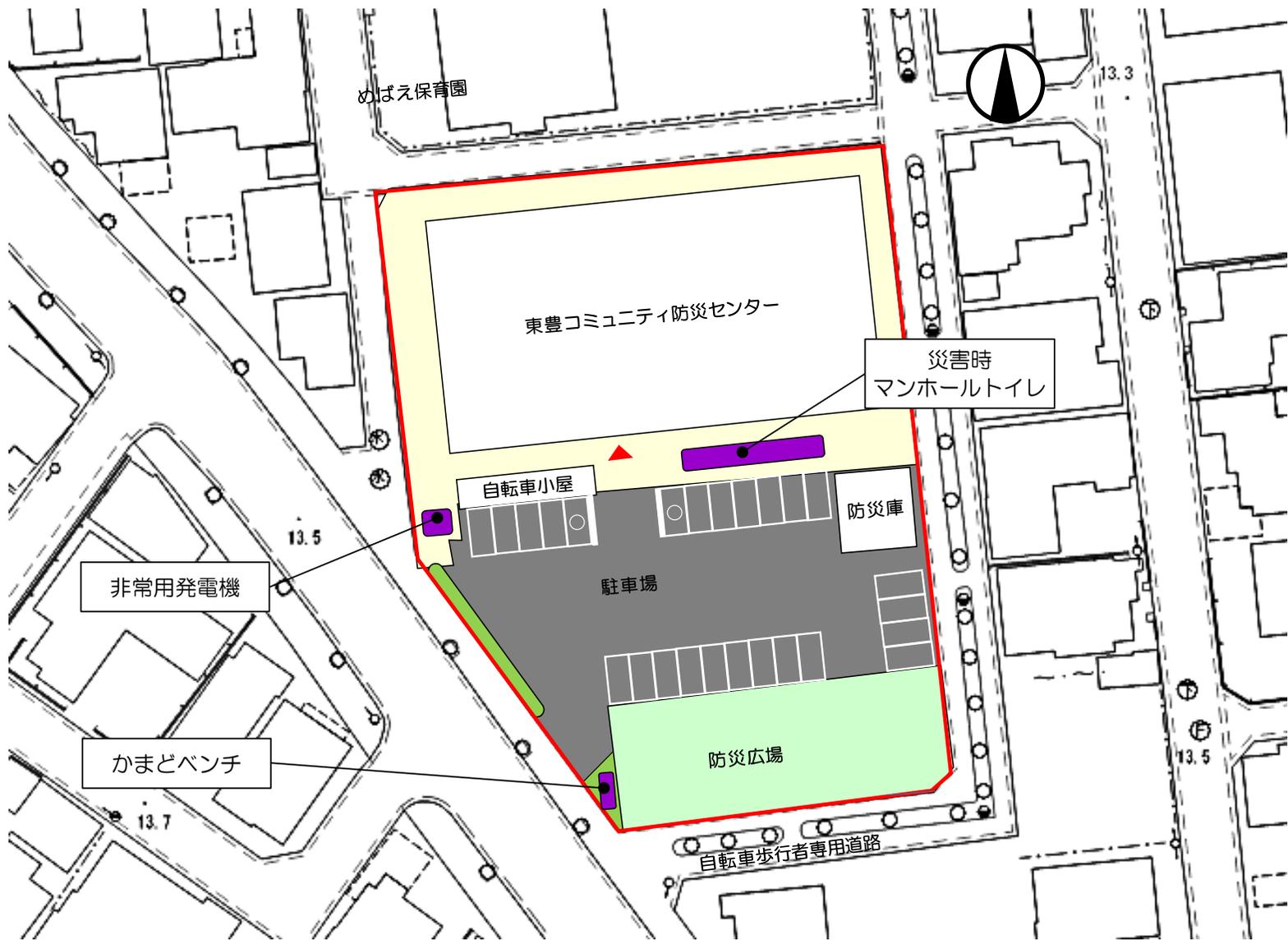
C13-002 効果促進事業(住民等のまちづくり活動支援(東豊地区))
 避難経路誘導表示板設置事業

C13-003 効果促進事業(住民等のまちづくり活動支援(東豊地区))
 防災講演会開催事業

C13-004 効果促進事業(住民等のまちづくり活動支援(東豊地区))
 防災訓練実施事業

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進 (防災・安全)	変更回数	7
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	新発田市

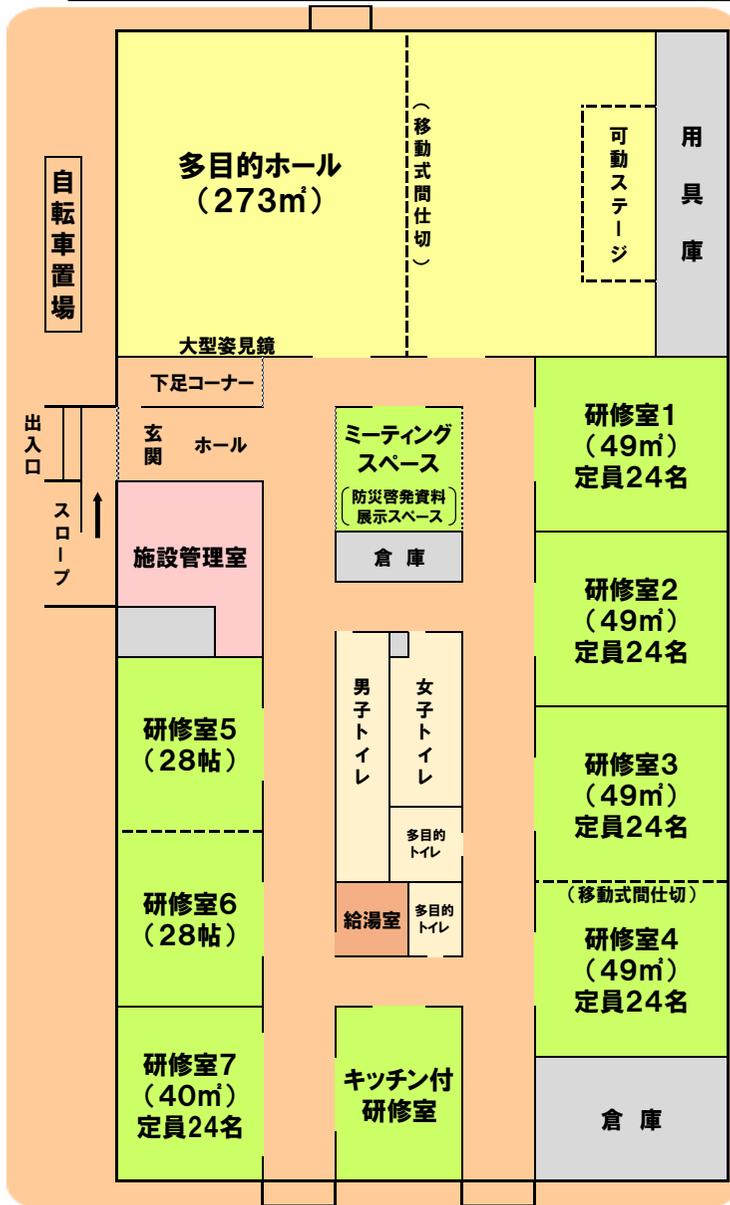
地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」【配置図】



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進 (防災・安全)	変更回数	7
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	新発田市

地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」【平面図】



多目的ホール



研修室(和室)



研修室(洋室)

防災意識の普及・啓発を図るとともに、地域住民のコミュニティの場として利用。
災害時は避難場所として使用。

建物全体床面積	面積 (m ²)	うち避難者収容部分	指定緊急避難
			場所収容可能人数(人)
研修室1	49.0	49.0	49
研修室2	49.0	49.0	49
研修室3	49.0	49.0	49
研修室4	49.0	49.0	49
研修室5(和室)	40.2	40.2	40
研修室6(和室)	40.2	40.2	40
和室収納	3.6		
研修室7	45.5	45.5	45
交付対象キッチン付研修室	32.5		0
交付対象床面積	多目的ホール1・2	273.0	273.0
	用具室	39.0	
	ミーティングスペース	31.5	31
	給湯室	6.6	
	トイレ	46.9	
	施設管理室	49.0	0
	防災備蓄庫	31.5	
	倉庫	10.0	
	玄関・廊下	246.5	0
	合計	1,092.0	626.4
アロケーション率(%)	100.00	(交付対象床面積/全体床面積)	
防災広場面積	483.8		
交付対象面積	避難場所スペース	319.0	319
	避難行動要支援者用使用スペース	164.8	
	合計	483.8	319
アロケーション率(%)	100.00	(交付対象面積/全体面積)	
合計		945.4	944

ミーティングスペース



防災に関する図書・雑誌等を置き、地域住民への意識啓発や談話スペースとして利用。
災害時は避難場所として使用。

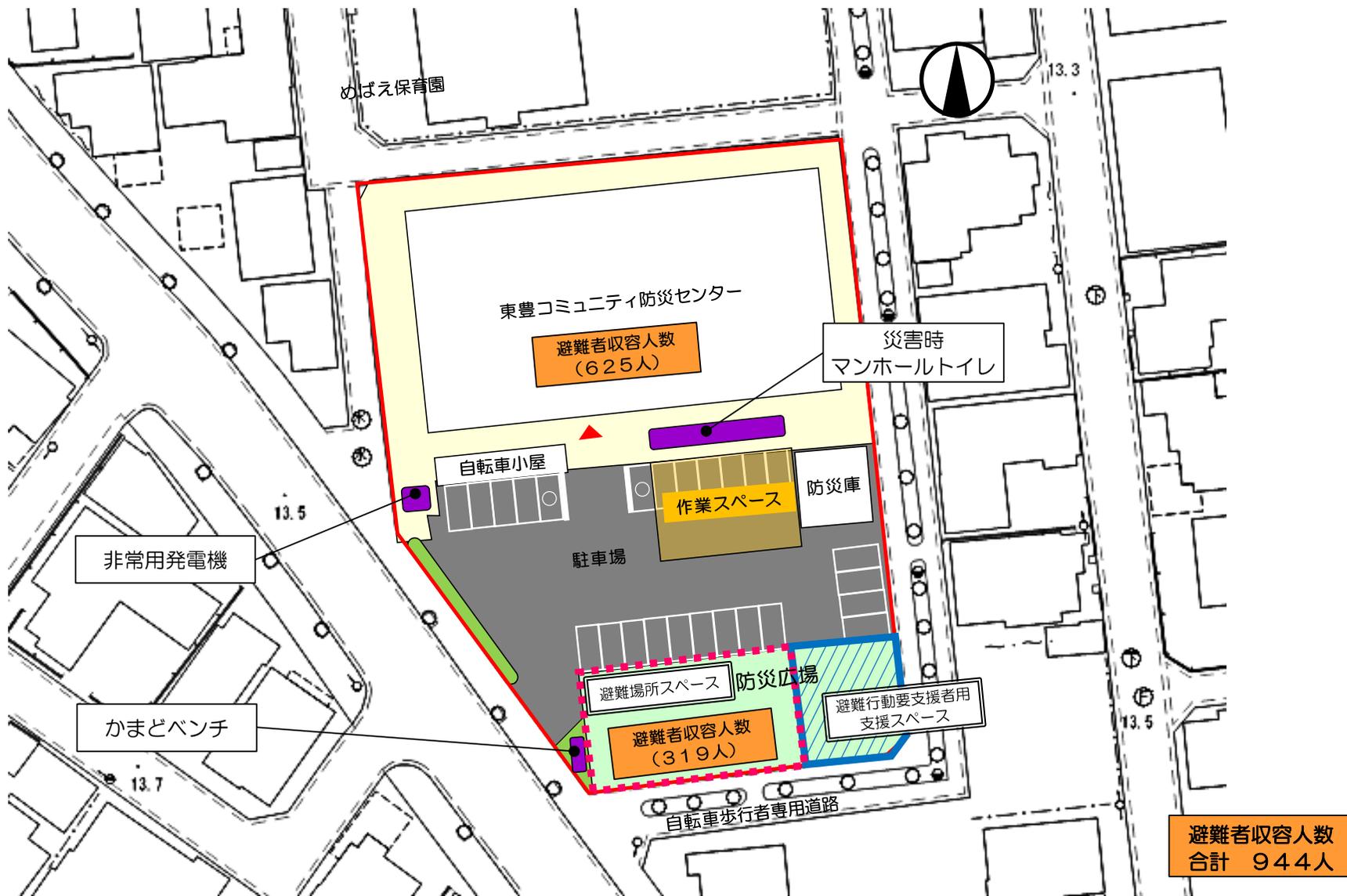
キッチン付研修室



防災学習、調理実習のほか、災害時は炊き出しスペース

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進 (防災・安全)	変更回数	7
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	新発田市

地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」【避難者受入計画】



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進(防災・安全)

事業主体名:新発田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の可能性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の可能性)	○